



大村市政だより

発行所
長崎県大村市250番地
大村市役所
印刷所 つじ印刷所
定価 一部五円

1月の実弾射撃
陸上自衛隊大村部隊で実施する実弾射撃の1月実施場所および日程はつぎのとおりです
実施場所=池田射撃場
実施日程=7日~19日
21日~31日

賀 正



原画は福野喜重郎氏
複製一本先生の作です

賀 正

昭和三十八年新春

大村市長 大村純毅

新年あけましておめでとうございます。本年もよい年でありますように、年頭にあたり、心からお祈りいたします。ご承知のように大村市も昨年で満二十年を迎え、いよいよ成人としての才二年目を迎えたわけです。

昭和三十七年には懸案となっていた置瀬ダムの完成をはじめ、県立工業高校の開校、大村火力発電所二期拡張工事の開始など産業振興の基礎が着々と確立され、また各種学校の整備によって教育都市としての形態を立派に作り上げたのであります。

また、国では低開発地域工業開発促進法を制定し、企業の立ちおくれしている地域の促進を図

ることになり、大村市は昨年九月十五日その指定をうけましたので産業振興のための工場を誘致することが容易になりました。

本年から大村市の課題として取組まねばならないことはこれら施設、制度の完成によって、いかにこれらを活用し、より以上の産業拡大と教育、文化、社会福祉の向上そのほかいろいろとなすべきことがあるのであります。

従来までは机上における画像にすぎなかった夢も国、県の協力によって具体化するよう今年は大いに頑張りたいものです。

新年を迎えるにあたり大村市の発展のため、これらの諸問題ととりくみ、市民のみならずの御協力を得て実現に邁進したいと存じます。

謹賀新年
昭和三十八年一月元旦
大村市議会
議長 津田一郎

大村市が繁栄する為には、在来の農業に依存した都市から工業に依存した都市へと体質改善をはかること以外にはないでしょう。その為には遠大な構想をたてて青写真をつくり、その上で基礎工事をなし建物を組み立ててゆくことです。幸い本市はさきに国の「低開発地域工業開発促進法」の指定をうけ将来の繁栄への誘導路が開けました。いよいよこれから地ならしをし、基礎工事に着手するところまでたどりついたのであります。

しかしかなる場合でも繁栄への道は常に平坦なものではありません。最近の日本は徳川末期の「黒船入港」当時と同

様な大転換期にあるといわれるほどで、貿易自由化問題を中心として内外共に容易ならざる事態に当面しているようであり、これはまさに間違えば高度成長が過熱となり、恐慌へと逆転しないとは限りません。とに角内外共に樂觀は許されません。

かような事態の中で市民各位はそれぞれ自己の暮しを建設されつつその上に大村市の建設に協力して頂かなければならないのです。昭和三十八年も決して平坦なる舗装道路ではないでしょう。しかしまた前途には希望もあるのです。苦しみもまた楽しみとして手をたづさえて辛抱よく歩こうではありませんか……

